



2020 年度 日本リトルシニア 関西連盟中国支部 秋季リーグ戦

大会要綱

主 催 一般財団法人 日本リトルシニア中学硬式野球協会 関西連盟中国支部

協 賛 株式会社ハーカスレイ（ほっかほっか亭中国各店舗）

サントリーフーズ株式会社

後 援 中国新聞社

期 日 令和元年 9 月 23 日（**月祝**）～

場 所 しまなみ球場ほか、各リーグ会場（東部・南部・北部・西部）

競 技 方 法 関西連盟大会規定を採用する。（一部、大会特別規定を採用）
地区リーグ戦（総当たり戦）

大会副賞 【本戦出場権】

各リーグ1位と2位（全8チーム）は秋季中国大会（本戦）出場権を獲得する。

なお、入賞順位により対戦枠は異なる。

【春季リーグの残留権】

各リーグ1位と2位は、現リーグの残留権を獲得し、現リーグのまま春季リーグにエントリーできる。なお、その他のチームは在籍リーグの入替抽選を行う。

開 会 式 期：令和元年 9 月 23 日（**月祝**）：9:00（開門 7:15～ 受付：7:30～）

於：しまなみ球場

参加チーム 日本リトルシニア関西連盟 中国支部加盟チーム：16 チーム（うち合同 1）

抽 選 会	令和元年 8 月 17 日（ 土 ）山口マツダ西京きずなスタジアム：会議室
参 加 費	無料（実費分担方式） ※リーグ戦に係る実費経費を在籍リーグがそれぞれ分担
試 合 球	久保田スラッガー（シニアリーグ公認球）試合ごとに 4 球
審 判 員	全試合：父兄審判員 4 名（各チームから 2 名ずつ派遣：担当は別紙対戦表を参照） 父兄審判員については、審判部が発行する審判カード所持者に限る。
審 判 弁 当	派遣人数分支給（各チーム：1 日 2 個まで）
参 加 要 件	<ol style="list-style-type: none">1. 本大会に出場できる選手は、中学 2 年生までの選手とし、日本リトルシニア野球協会が発行する選手登録証所持者（コピー不可）のみ、ベンチ入りを許可する。2. 1 チームの最低人数編成は 9 名以上 25 名未満とし、最低人数に満たないチームは応援または合同チームでの参加を認める。（合同等チームの場合、各チームのユニフォーム着用は認めるが、背番号は 1 ~ 25 番までとする。）3. 専用球場を保有するチームは、当該試合の有無に関わらず、本大会の試合会場として協力できること。4. 本大会に参加するチームは、全ての試合において大会弁当（@600 円）を注文すること。

競技要項（大会特別規定）

- 1 ベンチは若番が一塁側。ロージンは後攻チーム、ボールボーイは両チーム2名とする。（ボールボーイは原則ベンチ入り選手とする）
- 2 各チーム派遣の審判員は、別紙対戦表に明記された墨審を担当する。
- 3 各球場のグランドルールは、試合開始前に各会場の責任審判員により説明を行う。
- 4 本大会はリーグ戦を採用し、全チーム総当たり戦を行う。
（リーグ戦における競技要項は別添詳解を参照）
- 5 試合は7回または2時間制とし、5回をもって試合成立とする。（5回までは2時間超えても試合を行う）なお、試合成立後の延長戦は行わず、即タイブレイク（最大3回：1アウト満塁）を行い、なお**同点の場合は勝敗抽選を行わない（引き分けで処理する）**
- 6 5回以降7点差および4回以降10点差をもってコールドゲームとする。
- 7 メンバー交換は前試合3回終了後、大会本部が指定する場所にて、**監督・代表選手1名が集合し、所定のメンバー表（5部）**を提出し、担当審判員並びにリーグ役員立ち会いのもと、先攻後攻を決定する。
- 8 試合前のシートノックは7分間とし、ノック時のボールボーイは必ずヘルメットを着用する。
なお、天候によってはサイドノックに変更する場合もある。（原則、各補助員は登録選手に限る）
- 9 原則、試合前のアップはフィールド内を使用しないこと。但し、外野フィールドにおいてはアップシューズ着用に限り、アップやキャッチボールを認める。（ノックやトスバッティングは禁止）
- 10 次試合チームの**先発バッテリー1組に限り、メンバー表交換後、ブルペン**に入って投球練習を行うことが出来る。（但し、ブルペン入場は、試合進行を妨げないよう細心の注意を払うこと）
- 11 ブルペン捕手は、スタンディングの場合であっても必ず防具を着用（特にキャッチ面）し、捕手の安全を守る保護選手を1名帯同させること。（保護選手も必ずヘルメットを着用すること）

その他の注意事項

- 1 各チームは、会場到着後、速やかに大会運営本部が指定する受付手続きを行うこと。
- 2 各チームは、当日の試合が全て終了し、会場を退出する際は、大会運営本部が指定する退場手続きを行い、「次回指示書」を受け取ること。
- 3 審判員は第1試合の試合開始40分前までに待機し、第2試合以降は、前試合3回終了前までに必ず審判控室にて待機する。（審判服は支部指定）
- 4 各チームの放送係は、第1試合の試合開始40分前までに必ず名札を付けて待機しておくこと。
- 5 審判へのお茶出しのアナウンスは行わない。（3回終了後のメンバー表交換のアナウンスは行う）
- 6 試合成績表の記録者は、名札を付け予備球を持って記録室に入室のこと。
- 7 各チーム応援団は、鳴り物やメガホン2本を叩いたり、球場器物を叩いての応援を禁止する。